

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
M211N212		保健政策論 (Health policy)					健康科学							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	2	医学部看護学 科	前期	月4	日本語		単独						
担当教員	氏名 加隈哲也 E-mail kakuma@oita-u.ac.jp 内線 5033													
授業の概要	公衆衛生看護を実践する上で必要不可欠な知識として、保健医療福祉行政の仕組み、制度の変遷と内容、そして保健医療福祉計画の策定から評価を学ぶ。地域の保健課題を解決するために、保健事業の企画を立案し、地域保健活動に応用できることをめざす													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	保健医療福祉行政の仕組み、制度の変遷と内容について説明できる。							○			○			
目標2	行政における保健師の役割と活動について説明できる。							○				○		
目標3	保健医療福祉を変革・創出する方法と考え方について説明できる。							○			○	○		
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								3			1	6		
授業の内容														
1	イントロダクション、保健医療福祉行政の基本													
2	公衆衛生の基盤形成													
3	保健医療福祉行政の動向													
4	保健医療福祉行政のしくみ													
5	保健医療福祉行政の財政													
6	保健医療福祉行政と保健師の活動													
7	社会保障制度と政策(1): 理念としくみ													
8	社会保障制度と政策(2): 医療制度と政策													
9	社会保障制度と政策(3): 介護保険													
10	社会保障制度と政策(4): 公的扶助													
11	保健医療福祉の計画と評価(1)													
12	保健医療福祉の計画と評価(2)													
13	保健医療福祉の計画と評価(3)													
14	保健師国家試験からみる保健政策論													
15	講義全体のまとめ													
ラーニング	A:知識の定着・確認	○	講義内での穴埋め資料、小テスト				工夫その他の	教科書を読み返して、どこに何が書かれているか理解することがまず大事。 テキストを上手に活用できれば十分である。 また国家試験で問われている内容を重視する。						
ーニング	B:意見の表現・交換	○	講義内での質疑応答											
ニング	C:応用志向	○	ケースメソッド											
グ	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	次回に講義する教科書のページを指定するので、その範囲の内容(欄外記載も)について予習する(6h)。												
	事後学修	配布資料や教科書を用いて、授業で学習した内容を復習する(6h)。												
	想定時間合計	12												
教科書	藤内修二(著):「保健医療福祉行政論 第5版」、医学書院、2021、ISBN 9784260042222													
参考書	特に指定しない													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	穴埋め資料、随時小テスト		20%	○	○	○							
	期末試験		80%	○	○	○							
注意事項													
備考													
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	医師（大学附属病院）												
実務経験を いかした教育内容	医師としての実務経験、また産業医としての保健指導の経験を交えて、講義する。												